

辺野古新基地の沖縄県民意調査

研究者グループ

沖縄県内外の研究者のグループが

昨年、県民を対象に行った米軍基地問題などについての意識調査で、同

県名護市辺野古の新基地建設は「辺

野古の基地負担の軽減にはならない」との意見が最も多く、「やや思わない」と回答した人は72%以上

ついたことが分かりました。

調査を手がけた一人の

会員の熊本・明星大学
教授は、「5月、沖縄県内



5日、沖縄県庁内で会見し、明らかにしました。調査は昨年の沖縄復帰50年を記念して実施。9月12日まで、外環、普天間、石垣など14市町村の33800人を調査用紙を郵送し、10233人から回答がありました。

報告書によると、「は

じもいえないは25%でし

政権に不信感ある

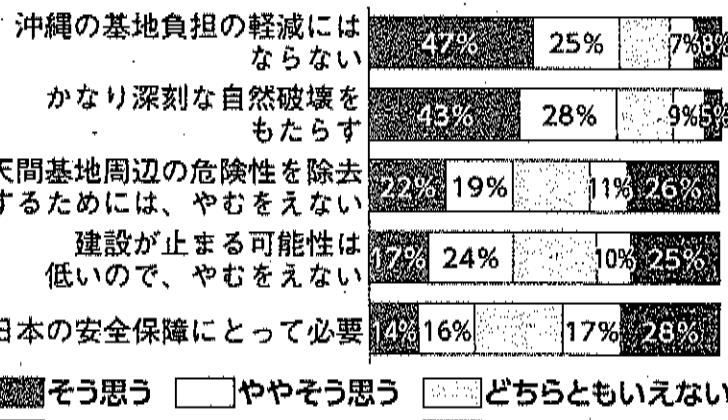
細県内の軍事施設は「軍事的」に攻撃対象になる」との意見は83%が賛成。

辺野古新基地建設の是非地である米軍普天間基地についても反対が46%

り空港、負担を減らすには「辺野古が誰」の解決策」と繰り返し、新基地建設を強行しています。また、「日本を作るため」として県内各地で自衛隊のミサイル基地建設を進めていますが、県民の多数はいずれの主張に対しても不信感を抱いていることが明らかになりました。

一方、中国の軍事力増強が脅威であるとする回答は6割を超え、自衛隊や日米安保体制を「現在よりも強化すべきだ」とする意見への賛同は反対を上回りました。「基地反対運動は意味がない」との意見に対し、「そうは思わない」「やるうは思わない」「やるうは思わない」と諦めない姿勢を示す人がおりました。

辺野古新基地建設についての考え方



(政治参加と沖縄に関する世論調査)報告書から

「基地反対運動は意味がない」との意見に対し、「そうは思わない」「やるうは思わない」と諦めない姿勢を示す人がおりました。

一方、中国の軍事力増強が脅威であるとする回答は6割を超え、自衛隊や日米安保体制を「現在よりも強化すべきだ」とする意見への賛同は反対を上回りました。「基地反対運動をやつても意味がない」「基地が集中する現状はやむを得ない」との意見への賛同も若くありました。

普天間基地周辺の危険性を除去するためには、やむをえない

建設が止まる可能性は低いので、やむをえない

日本の安全保障にとって必要

どちらともいえない

あまりそう思わない

そう思わない

「基地反対運動は意味がない」との意見に対し、「そうは思わない」「やるうは思わない」と諦めない姿勢を示す人がおりました。

一方、中国の軍事力増強が脅威であるとする回答は6割を超え、自衛隊や日米安保体制を「現在よりも強化すべきだ」とする意見への賛同は反対を上回りました。「基地反対運動をやつても意味がない」「基地が集中する現状はやむを得ない」との意見への賛同も若くありました。

建設が止まる可能性は低いので、やむをえない

日本の安全保障にとって必要

どちらともいえない

あまりそう思わない

そう思わない